

【地区住民センター一等編】

北広島市 公共施設カルテ

調査実施年度 平成30年度

施設名	北広島団地住民センター			
-----	-------------	--	--	--

大分類	市民文化系施設	中分類	集会施設	施設番号	44
-----	---------	-----	------	------	----

所管部課	市民課
------	-----

1 土地データ

所在地 (地区)	泉町1丁目1番地	敷地面積	5,620 m ²
	(北広島団地)	うち借地面積	- m ²

2 建物データ

複合・併設施設	北広島学童クラブ、図書館住民センター分室		建築年度	昭和55年度	
建物構造	RC	延床面積	1,958 m ²	経過年数	38年
階数(地上)	2階	階数(地下)	-階	避難所指定	指定避難所
概算更新コスト	783,200千円	法定耐用年数	50年	市民1人当たり更新コスト	13,334円/人

3 管理運営データ

利用状況	H28年度	H29年度	H30年度	平均利用者数	管理形態		
	50,925人	50,852人	人	50,889人	指定管理者		
ファシリティコスト 平成29年度分 施設コスト ①施設維持コスト 建物を良好に保つために要する経費 + ②施設運営コスト 公共サービスを提供するために要する経費	内 訳		金額(千円)	支 出	内 訳		金額(千円)
	収 入	利用料等	-		①施設維持コスト	修繕料	205
		国費	-			火災保険料	10
		道費	-			維持管理委託料	-
		その他	-			敷地借上料	-
		市費(一般財源)	17,879			工事請負費	-
	合 計		17,879		その他維持費	54	
					小 計	269	
	②施設運営コスト				②施設運営コスト	人件費	-
						光熱水費	-
		運営委託料	17,610				
		その他運営費	-				
			小 計	17,610			
			合 計(①+②)	17,879			
コスト計算	平均利用者数1人当たり		市民1人当たり		延床面積1m ² 当たり		
単位コスト	351円/人		304円/人		9,131円/m ²		



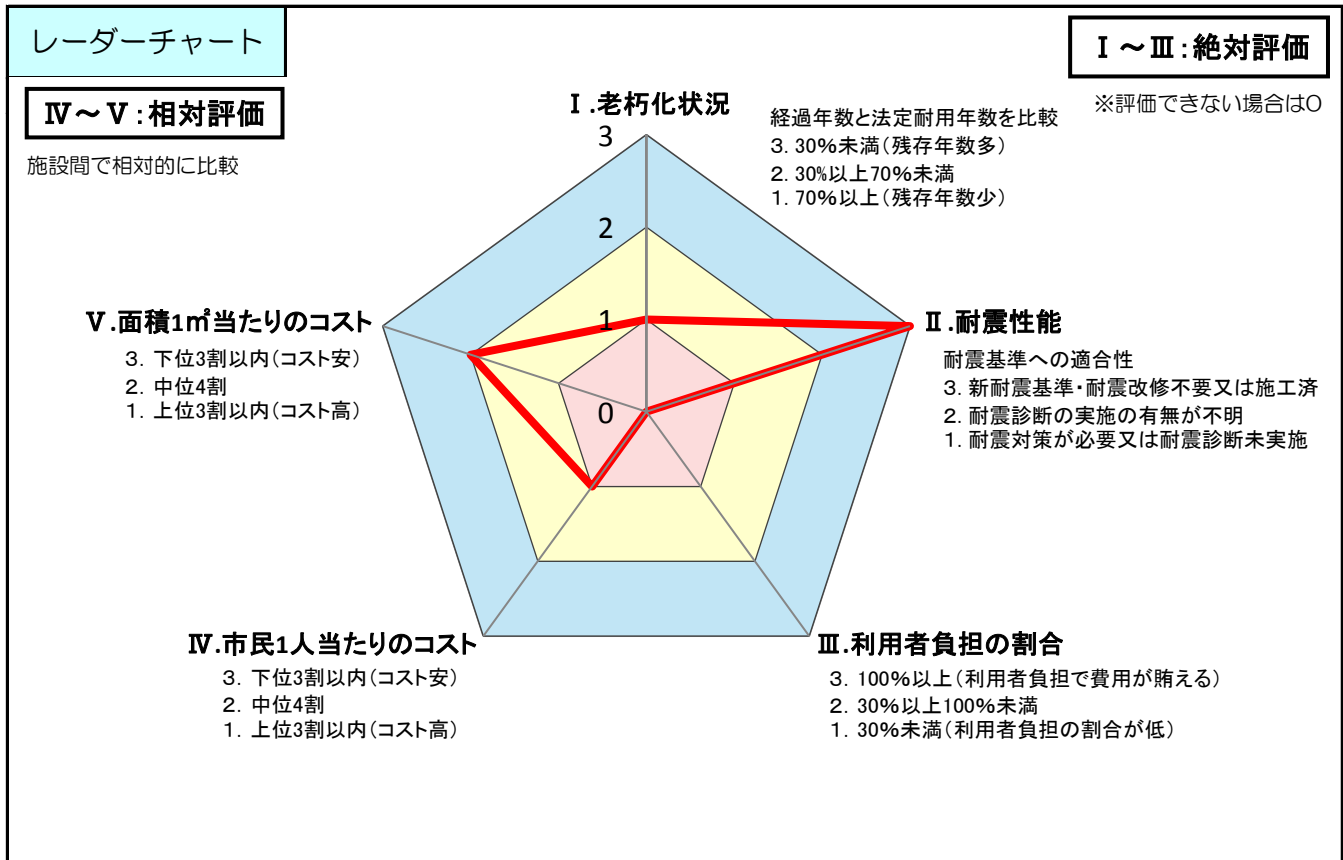
4 修繕履歴

実施年度	内容	工事費(千円)	実施年度	内容	工事費(千円)
H8	便器改修	541	H29	照明修繕	205
H9	温水ボイラー補修	2,888			
H10	温風暖房設備修繕	2,153			
H10	自動ドア修繕	830			
H15	ファミリーホール屋根改修	不明			
H16	屋上防水改修	不明			
H24	大規模修繕(耐震化改修等)	58,800			
H24	大規模修繕(内装・電気設備・機械設備)	1,292			
H26	個別暖房化	5,031			
H26	非常用発電機分解整備	1,253			

5 特記事項

光熱水費及び維持管理委託料は指定管理料(運営委託料)に含む。H28管理委託料のうち561千円は図書館住民センター分室分

6 データ分析



レーダーチャートで示す5つの指標

I. 老朽化状況	<p>建物の老朽化を示す指標(%)</p> <p>建物の経過年数と法定耐用年数を比較して老朽化率を%表示 (経過年数÷法定耐用年数)</p> <p>数値が高いほど老朽化が進んでいる。</p>	76 (%)
II. 耐震性能	<p>建物の耐震安全性を示す</p> <p>耐震性能の有無と対策の必要性を表示</p> <p>耐震性能あり：新耐震基準で建設されているか、診断結果で対策不要か 対策実施済。</p>	耐震性能あり
III. 利用者負担の割合	<p>ファシリティコストに対する利用料等(利用者負担の割合)を示す指標</p> <p>利用料等÷ファシリティコスト(施設維持管理コスト)</p> <p>数値が高いほど、利用者負担の割合が高く、収支のバランスが取れている。 利用料等が発生しない施設は1、ファシリティコストが発生しない施設は3。</p>	- (%)
IV. 市民1人当たりのコスト	<p>市民1人当たりの施設維持管理にかかるコストを示す指標</p> <p>支出合計÷人口</p> <p>数値が高いほど、市民一人あたりが負担する金額が大きくなっている。</p>	304 (円/㎡)
V. 面積1㎡当たりのコスト	<p>延床面積1㎡当たりの施設維持管理にかかるコストを示す指標</p> <p>支出合計÷延床面積</p> <p>数値が高いほど、施設規模に比べて施設維持・運営にコストがかかっている。</p>	9,131 (円/㎡)
総合評価	<p>経過年数から老朽化が進んでいると判断(I)。耐震性能を有している(II)。</p> <p>利用者負担は評価できない(III)。市民一人当たりのコストが大きい(IV)。</p> <p>市内全施設の相対的な比較では、㎡あたりの施設維持コストは標準的(V)。</p>	

北広島市 公共施設カルテ

調査実施年度 平成30年度

施設名	農民研修センター			
-----	----------	--	--	--

大分類	市民文化系施設	中分類	集会施設	施設番号	45
-----	---------	-----	------	------	----

所管部課	市民課
------	-----

1 土地データ

所在地 (地区)	輪厚中央4丁目12番地17	敷地面積	1,327 m ²
	(西部)	うち借地面積	- m ²

2 建物データ

複合・併設施設	-			建築年度	昭和49年度
建物構造	RC	延床面積	661 m ²	経過年数	44年
階数(地上)	2階	階数(地下)	-階	避難所指定	指定無し
概算更新コスト	264,400千円	法定耐用年数	50年	市民1人当たり更新コスト	4,501円/人

3 管理運営データ

利用状況	H28年度	H29年度	H30年度	平均利用者数	管理形態			
	7,624人	6,250人	人	6,937人	指定管理者			
ファシリティコスト 平成29年度分 施設コスト ①施設維持コスト 建物を良好に保つために要する経費 + ②施設運営コスト 公共サービスを提供するために要する経費	内 訳		金額(千円)	支 出	内 訳		金額(千円)	
	収 入	利用料等	-		①施設維持コスト	修繕料	322	
		国 費	-			火災保険料	3	
		道 費	-			維持管理委託料	-	
		その他	-			敷地借上料	-	
		市費(一般財源)	13,691			工事請負費	-	
	合 計				13,691	その他維持費	-	
					小 計	325		
					②施設運営コスト	人件費	-	
						光熱水費	-	
				運営委託料		13,366		
				その他運営費		-		
				小 計	13,366			
				合 計(①+②)	13,691			
コスト計算	平均利用者数1人当たり		市民1人当たり		延床面積1m ² 当たり			
単位コスト	1,974円/人		233円/人		20,713円/m ²			



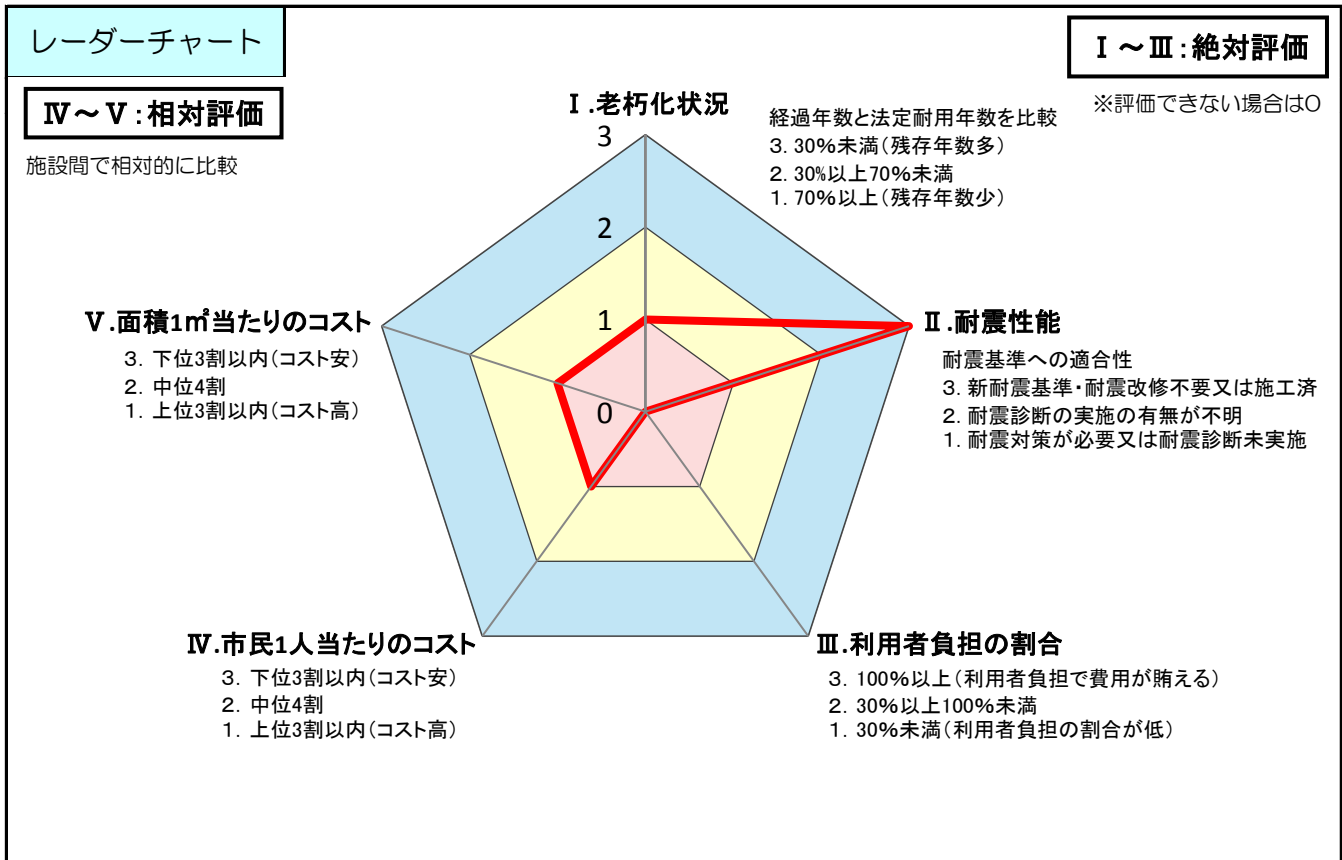
4 修繕履歴

実施年度	内容	工事費(千円)	実施年度	内容	工事費(千円)
S53	増築	不明			
S60	外壁塗装	不明			
H3	屋上防水、内部補修、福祉環境整備	13,905			
H5	排水設備工事	4,017			
H8	外部補修工事	1,002			
H10	玄関スロープ・床材張替	不明			
H14	屋上防水改修	不明			
H22	女子トイレ改修(洋式化)	557			
H24	エレベーター等設置工事	31,920			
H29	漏水修繕	322			

5 特記事項

光熱水費及び維持管理委託料は指定管理料(運営委託料)に含む。

6 データ分析



レーダチャートで示す5つの指標

I. 老朽化状況	<p>建物の老朽化を示す指標 (%) 建物の経過年数と法定耐用年数を比較して老朽化率を%表示 (経過年数÷法定耐用年数) 数値が高いほど老朽化が進んでいる。</p>	88 (%)
II. 耐震性能	<p>建物の耐震安全性を示す 耐震性能の有無と対策の必要性を表示 耐震性能あり：新耐震基準で建設されているか、診断結果で対策不要か 対策実施済。</p>	耐震性能あり
III. 利用者負担の割合	<p>ファシリティコストに対する利用料等(利用者負担の割合)を示す指標 利用料等÷ファシリティコスト(施設維持管理コスト) 数値が高いほど、利用者負担の割合が高く、収支のバランスが取れている。 利用料等が発生しない施設は1、ファシリティコストが発生しない施設は3。</p>	- (%)
IV. 市民1人当たりのコスト	<p>市民1人当たりの施設維持管理にかかるコストを示す指標 支出合計÷人口 数値が高いほど、市民一人あたりが負担する金額が大きくなっている。</p>	233 (円/㎡)
V. 面積1㎡当たりのコスト	<p>延床面積1㎡当たりの施設維持管理にかかるコストを示す指標 支出合計÷延床面積 数値が高いほど、施設規模に比べて施設維持・運営にコストがかかっている。</p>	20,713 (円/㎡)
総合評価	<p>経過年数から老朽化が進んでいると判断(I)。耐震性能を有している(II)。 利用者負担は評価できない(III)。市民一人当たりのコストが大きい(IV)。 市内全施設の相対的な比較では、㎡あたりの施設維持コストは高い(V)。</p>	

北広島市 公共施設カルテ

調査実施年度 平成30年度

施設名	西の里会館			
-----	-------	--	--	--

大分類	市民文化系施設	中分類	集会施設	施設番号	46
-----	---------	-----	------	------	----

所管部課	市民課
------	-----

1 土地データ

所在地 (地区)	西の里南1丁目2番地2	敷地面積	842 m ²
	(西の里)	うち借地面積	- m ²

2 建物データ

複合・併設施設	-			建築年度	昭和56年度
建物構造	RC	延床面積	613 m ²	経過年数	37年
階数(地上)	2階	階数(地下)	-階	避難所指定	指定避難所
概算更新コスト	245,200千円	法定耐用年数	50年	市民1人当たり更新コスト	4,174円/人

3 管理運営データ

利用状況	H28年度	H29年度	H30年度	平均利用者数	管理形態		
	22,015人	20,879人	人	21,447人	指定管理者		
ファシリティコスト 平成29年度分 施設コスト ①施設維持コスト 建物を良好に保つために要する経費 + ②施設運営コスト 公共サービスを提供するために要する経費	内 訳		金額(千円)	支 出	内 訳		金額(千円)
	収 入	利用料等	-		①施設維持コスト	修繕料	611
		国費	-			火災保険料	3
		道費	-			維持管理委託料	108
		その他	-			敷地借上料	-
		市費(一般財源)	13,492			工事請負費	-
	合 計				13,492	その他維持費	-
					小 計	722	
	②施設運営コスト				②施設運営コスト	人件費	-
						光熱水費	-
		運営委託料	12,770				
		その他運営費	-				
				小 計	12,770		
				合 計(①+②)	13,492		
コスト計算	平均利用者数1人当たり		市民1人当たり		延床面積1m ² 当たり		
単位コスト	629円/人		230円/人		22,010円/m ²		



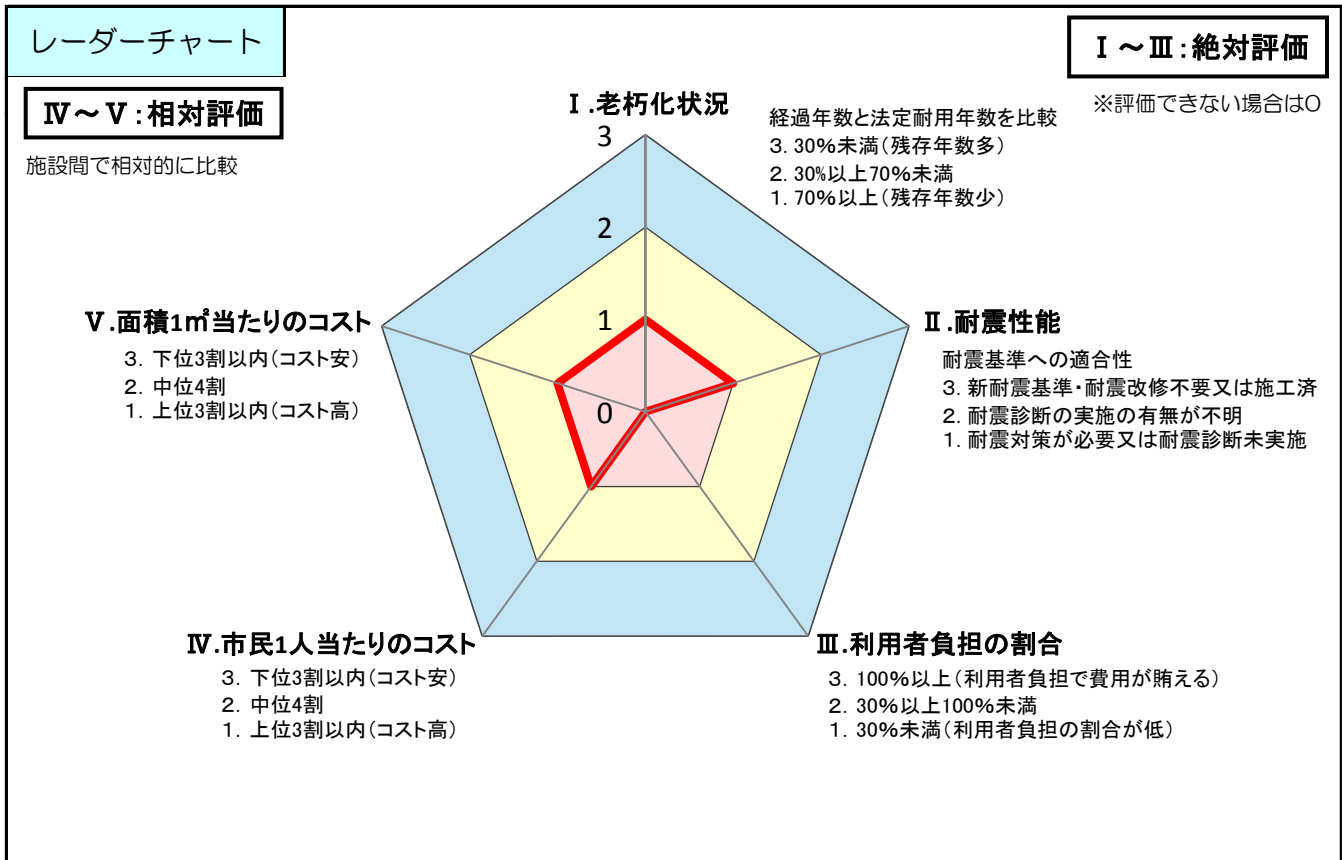
4 修繕履歴

実施年度	内容	工事費(千円)	実施年度	内容	工事費(千円)
H8	福祉環境整備	15,759			
H10	照明器具取替	1,040			
H13	暖房機切り替え	不明			
H19	大規模改修(エレベーター設置、和室の洋室化、トイレ改修等)	不明			
H26	集会室鏡設置	691			
H28	給湯器取替及び配管取替	421			
H29	階段排煙窓修繕	205			
H29	自動ドア部品交換及び修繕	356			

5 特記事項

光熱水費及び維持管理委託料は指定管理料(運営委託料)に含む。

6 データ分析



レーダチャートで示す5つの指標

I. 老朽化状況	<p>建物の老朽化を示す指標 (%) 建物の経過年数と法定耐用年数を比較して老朽化率を%表示 (経過年数÷法定耐用年数) 数値が高いほど老朽化が進んでいる。</p>	74 (%)
II. 耐震性能	<p>建物の耐震安全性を示す 耐震性能の有無と対策の必要性を表示 耐震性能あり：新耐震基準で建設されているか、診断結果で対策不要か 対策実施済。</p>	対策が必要
III. 利用者負担の割合	<p>ファシリティコストに対する利用料等(利用者負担の割合)を示す指標 利用料等÷ファシリティコスト(施設維持管理コスト) 数値が高いほど、利用者負担の割合が高く、収支のバランスが取れている。 利用料等が発生しない施設は1、ファシリティコストが発生しない施設は3。</p>	- (%)
IV. 市民1人当たりのコスト	<p>市民1人当たりの施設維持管理にかかるコストを示す指標 支出合計÷人口 数値が高いほど、市民一人あたりが負担する金額が大きくなっている。</p>	230 (円/㎡)
V. 面積1㎡当たりのコスト	<p>延床面積1㎡当たりの施設維持管理にかかるコストを示す指標 支出合計÷延床面積 数値が高いほど、施設規模に比べて施設維持・運営にコストがかかっている。</p>	22,010 (円/㎡)
総合評価	<p>経過年数から老朽化が進んでいると判断(I)。耐震性能を有していない恐れがある(II)。 利用者負担は評価できない(III)。市民一人当たりのコストが大きい(IV)。 市内全施設の相対的な比較では、㎡あたりの施設維持コストは高い(V)。</p>	

北広島市 公共施設カルテ

調査実施年度 平成30年度

施設名	大曲会館				
-----	------	--	--	--	--

大分類	市民文化系施設	中分類	集会施設	施設番号	47
-----	---------	-----	------	------	----

所管部課	市民課
------	-----

1 土地データ

所在地 (地区)	大曲中央2丁目4番地5 (大曲)	敷地面積	1,979 m ²
		うち借地面積	- m ²

2 建物データ

複合・併設施設	-			建築年度	昭和54年度
建物構造	RC	延床面積	768 m ²	経過年数	39年
階数(地上)	2階	階数(地下)	-階	避難所指定	指定避難所
概算更新コスト	307,200千円	法定耐用年数	50年	市民1人当たり更新コスト	5,230円/人

3 管理運営データ

利用状況	H28年度	H29年度	H30年度	平均利用者数	管理形態			
	27,636人	28,868人	人	28,252人	指定管理者			
ファシリティコスト 平成29年度分 施設コスト ①施設維持コスト 建物を良好に保つために要する経費 + ②施設運営コスト 公共サービスを提供するために要する経費	内 訳		金額(千円)	支 出	内 訳			
	金額(千円)		金額(千円)		金額(千円)			
	収 入	利用料等	-		-	①施設維持コスト	修繕料	177
		国費	-		-		火災保険料	5
		道費	-		-		維持管理委託料	-
		その他	-		-		敷地借上料	-
		市費(一般財源)	13,681		-		工事請負費	-
	合 計		13,681		-	その他維持費	-	
						小 計	182	
						②施設運営コスト	人件費	-
				光熱水費	-			
				運営委託料	13,499			
				その他運営費	-			
				小 計	13,499			
				合 計(①+②)	13,681			
コスト計算	平均利用者数1人当たり		市民1人当たり		延床面積1m ² 当たり			
単位コスト	484円/人		233円/人		17,814円/m ²			



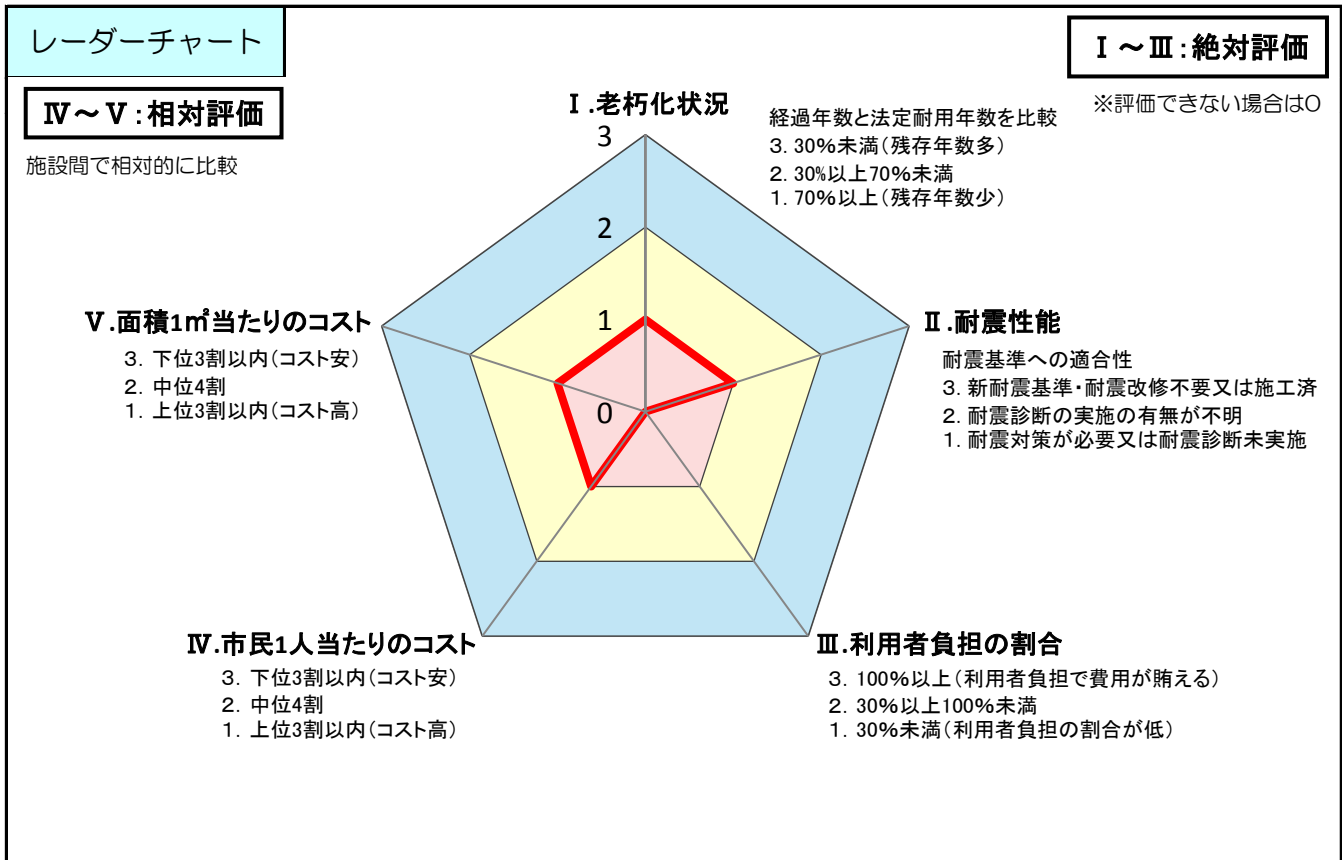
4 修繕履歴

実施年度	内容	工事費(千円)	実施年度	内容	工事費(千円)
H2	会議室、保育室ドア、内装改修	120			
H5	会館外部改修工事	7,468			
H5	ボイラー修繕	630			
H6	地下重油タンク設備修繕	15,154			
H9	福祉環境整備工事	15,645			
H22	会館電灯動力変圧器及びコンデンサー取替	1,103			
H26	大規模改修(エレベーター、トイレ、外壁等)	6,804			
H26	非常用放送設備設置	983			
H27	石油暖房機取付	341			
H29	煙突封じ込め修繕	177			

5 特記事項

光熱水費及び維持管理委託料は指定管理料(運営委託料)に含む。

6 データ分析



レーダチャートで示す5つの指標

I. 老朽化状況	<p>建物の老朽化を示す指標 (%) 建物の経過年数と法定耐用年数を比較して老朽化率を%表示 (経過年数÷法定耐用年数) 数値が高いほど老朽化が進んでいる。</p>	78 (%)
II. 耐震性能	<p>建物の耐震安全性を示す 耐震性能の有無と対策の必要性を表示 耐震性能あり：新耐震基準で建設されているか、診断結果で対策不要か 対策実施済。</p>	対策が必要
III. 利用者負担の割合	<p>ファシリティコストに対する利用料等(利用者負担の割合)を示す指標 利用料等÷ファシリティコスト(施設維持管理コスト) 数値が高いほど、利用者負担の割合が高く、収支のバランスが取れている。 利用料等が発生しない施設は1、ファシリティコストが発生しない施設は3。</p>	- (%)
IV. 市民1人当たりのコスト	<p>市民1人当たりの施設維持管理にかかるコストを示す指標 支出合計÷人口 数値が高いほど、市民一人あたりが負担する金額が大きくなっている。</p>	233 (円/㎡)
V. 面積1㎡当たりのコスト	<p>延床面積1㎡当たりの施設維持管理にかかるコストを示す指標 支出合計÷延床面積 数値が高いほど、施設規模に比べて施設維持・運営にコストがかかっている。</p>	17,814 (円/㎡)
総合評価	<p>経過年数から老朽化が進んでいると判断(I)。耐震性能を有していない恐れがある(II)。 利用者負担は評価できない(III)。市民一人当たりのコストが大きい(IV)。 市内全施設の相対的な比較では、㎡あたりの施設維持コストは高い(V)。</p>	

北広島市 公共施設カルテ

調査実施年度 平成30年度

施設名	東記念館				
-----	------	--	--	--	--

大分類	市民文化系施設	中分類	集会施設	施設番号	48
-----	---------	-----	------	------	----

所管部課	市民課
------	-----

1 土地データ

所在地 (地区)	朝日町5丁目1番地2	敷地面積	2,939 m ²
	(東部)	うち借地面積	- m ²

2 建物データ

複合・併設施設	-			建築年度	平成2年度
建物構造	RC	延床面積	714 m ²	経過年数	28年
階数(地上)	1階	階数(地下)	-階	避難所指定	指定避難所
概算更新コスト	285,600千円	法定耐用年数	50年	市民1人当たり更新コスト	4,862円/人

3 管理運営データ

利用状況	H28年度	H29年度	H30年度	平均利用者数	管理形態		
	22,140人	20,005人	人	21,073人	指定管理者		
ファシリティコスト 平成29年度分 施設コスト ①施設維持コスト 建物を良好に保つために要する経費 + ②施設運営コスト 公共サービスを提供するために要する経費	内 訳		金額(千円)	支 出	内 訳		金額(千円)
	収 入	利用料等	-		①施設維持コスト	修繕料	-
		国費	-			火災保険料	6
		道費	-			維持管理委託料	-
		その他	3,700			敷地借上料	-
		市費(一般財源)	6,897			工事請負費	-
	合 計		10,597		その他維持費	4,169	
					小 計	4,175	
	②施設運営コスト				②施設運営コスト	人件費	-
						光熱水費	-
		運営委託料	6,422				
		その他運営費	-				
			小 計	6,422			
			合 計(①+②)	10,597			
コスト計算	平均利用者数1人当たり		市民1人当たり		延床面積1m ² 当たり		
単位コスト	503円/人		180円/人		14,842円/m ²		



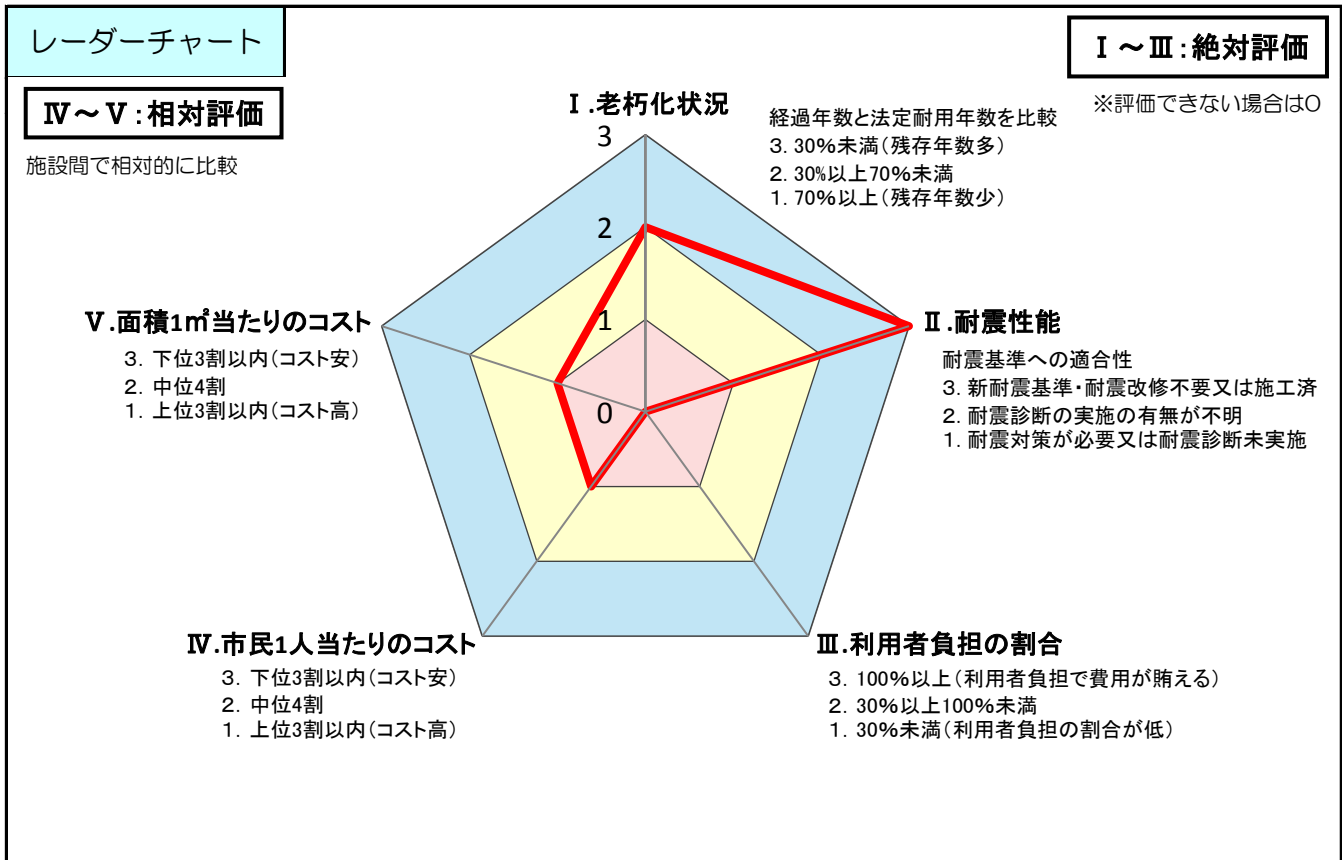
4 修繕履歴

実施年度	内容	工事費(千円)	実施年度	内容	工事費(千円)
H2	外装整備工事	10,527			
H12	福祉環境整備工事	9,608			
H14	屋根改修	16,800			
H26	ポイラー修繕	606			

5 特記事項

光熱水費及び維持管理委託料は指定管理料(運営委託料)に含む。

6 データ分析



レーダチャートで示す5つの指標

<p>I. 老朽化状況</p>	<p>建物の老朽化を示す指標(%) 建物の経過年数と法定耐用年数を比較して老朽化率を%表示 (経過年数÷法定耐用年数) 数値が高いほど老朽化が進んでいる。</p>	<p>56 (%)</p>
<p>II. 耐震性能</p>	<p>建物の耐震安全性を示す 耐震性能の有無と対策の必要性を表示 耐震性能あり：新耐震基準で建設されているか、診断結果で対策不要か 対策実施済。</p>	<p>耐震性能あり</p>
<p>III. 利用者負担の割合</p>	<p>ファシリティコストに対する利用料等(利用者負担の割合)を示す指標 利用料等÷ファシリティコスト(施設維持管理コスト) 数値が高いほど、利用者負担の割合が高く、収支のバランスが取れている。 利用料等が発生しない施設は1、ファシリティコストが発生しない施設は3。</p>	<p>- (%)</p>
<p>IV. 市民1人当たりのコスト</p>	<p>市民1人当たりの施設維持管理にかかるコストを示す指標 支出合計÷人口 数値が高いほど、市民一人あたりが負担する金額が大きくなっている。</p>	<p>180 (円/㎡)</p>
<p>V. 面積1㎡当たりのコスト</p>	<p>延床面積1㎡当たりの施設維持管理にかかるコストを示す指標 支出合計÷延床面積 数値が高いほど、施設規模に比べて施設維持・運営にコストがかかっている。</p>	<p>14,842 (円/㎡)</p>
<p>総合評価</p>	<p>経過年数から対策の検討時期と判断(I)。耐震性能を有している(II)。 利用者負担は評価できない(III)。市民一人当たりのコストが大きい(IV)。 市内全施設の相対的な比較では、㎡あたりの施設維持コストは高い(V)。</p>	

北広島市 公共施設カルテ

調査実施年度 平成30年度

施設名	ふれあい学習センター			
-----	------------	--	--	--

大分類	市民文化系施設	中分類	集会施設	施設番号	49
-----	---------	-----	------	------	----

所管部課	市民課
------	-----

1 土地データ

所在地 (地区)	大曲370番地2 (大曲)	敷地面積	15,121 m ²
		うち借地面積	- m ²

2 建物データ

複合・併設施設	大曲児童センター、図書館大曲分館			建築年度	平成17年度
建物構造	RC	延床面積	2,558 m ²	経過年数	13年
階数(地上)	2階	階数(地下)	-階	避難所指定	指定避難所
概算更新コスト	1,023,200 千円	法定耐用年数	50年	市民1人当たり更新コスト	17,419 円/人

3 管理運営データ

利用状況	H28年度	H29年度	H30年度	平均利用者数	管理形態		
	42,470人	46,026人	人	44,248人	指定管理者		
ファシリティコスト 平成29年度分 施設コスト ①施設維持コスト 建物を良好に保つために要する経費 + ②施設運営コスト 公共サービスを提供するために要する経費	内 訳		金額(千円)	内 訳		金額(千円)	
	収 入	利用料等	-	支 出	①施設維持コスト	修繕料	756
		国費	-		火災保険料	26	
		道費	-		維持管理委託料	-	
		その他	-		敷地借上料	-	
		市費(一般財源)	37,987		工事請負費	-	
	合 計		37,987	②施設運営コスト	その他維持費	-	
				小 計	782		
				②施設運営コスト	人件費	-	
				光熱水費	-		
			運営委託料	37,205			
			その他運営費	-			
			小 計	37,205			
			合 計(①+②)	37,987			
コスト計算	平均利用者数1人当たり		市民1人当たり	延床面積1m ² 当たり			
単位コスト	859 円/人		647 円/人	14,850 円/m ²			



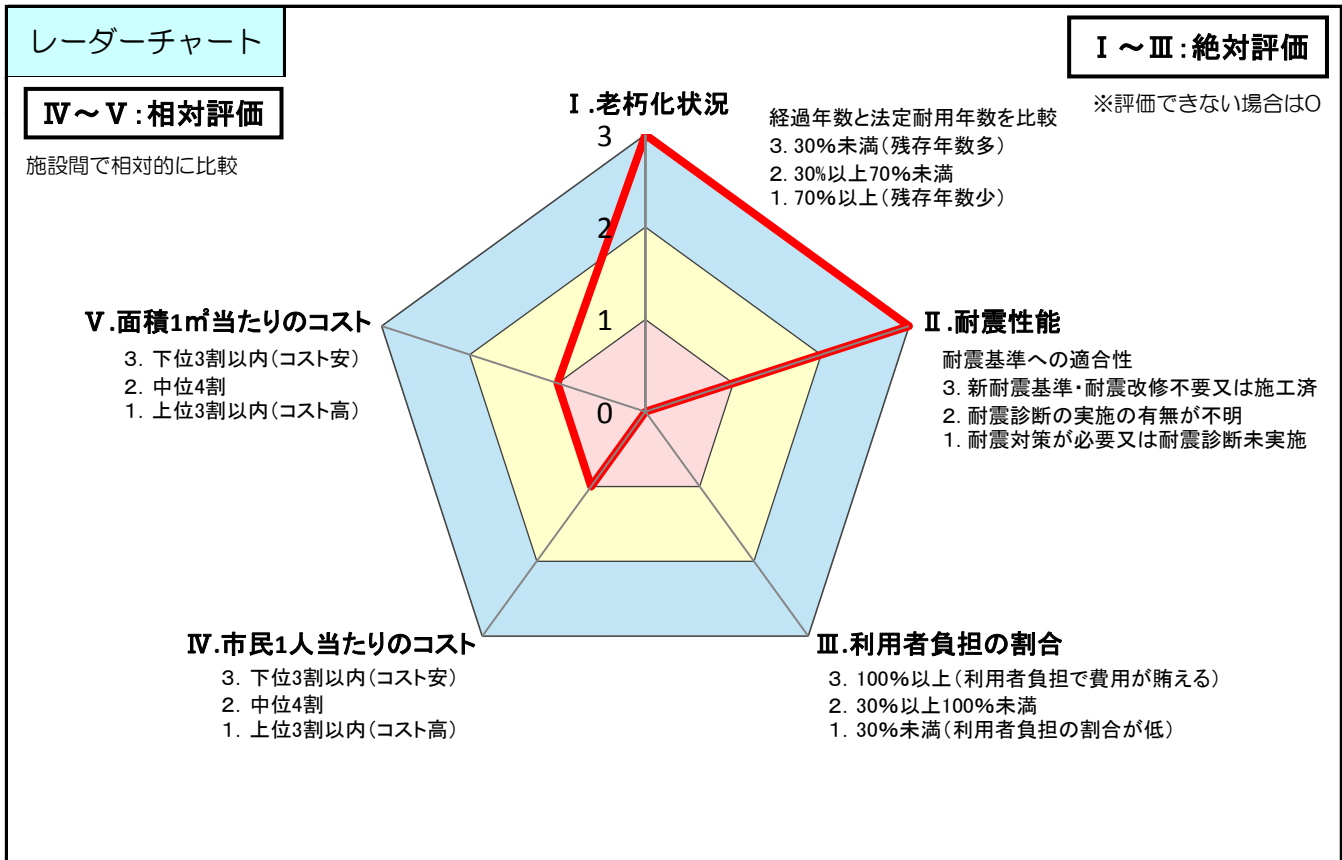
4 修繕履歴

実施年度	内容	工事費(千円)	実施年度	内容	工事費(千円)
H23	昇降ステージ通信線改修修繕	163			
H23	図書館系統GHP室外機修繕	250			
H25	非常用照明バッテリー修繕	483			
H25	非常用発電装置修繕	283			
H29	外壁タイル復旧修繕	756			

5 特記事項

光熱水費及び維持管理委託料は指定管理料(運営委託料)に含む。H28管理委託料のうち2,538千円は図書館大曲分館分

6 データ分析



レーダチャートで示す5つの指標

I. 老朽化状況	<p>建物の老朽化を示す指標(%) 建物の経過年数と法定耐用年数を比較して老朽化率を%表示 (経過年数÷法定耐用年数) 数値が高いほど老朽化が進んでいる。</p>	26 (%)
II. 耐震性能	<p>建物の耐震安全性を示す 耐震性能の有無と対策の必要性を表示 耐震性能あり：新耐震基準で建設されているか、診断結果で対策不要か 対策実施済。</p>	耐震性能あり
III. 利用者負担の割合	<p>ファシリティコストに対する利用料等(利用者負担の割合)を示す指標 利用料等÷ファシリティコスト(施設維持管理コスト) 数値が高いほど、利用者負担の割合が高く、収支のバランスが取れている。 利用料等が発生しない施設は1、ファシリティコストが発生しない施設は3。</p>	- (%)
IV. 市民1人当たりのコスト	<p>市民1人当たりの施設維持管理にかかるコストを示す指標 支出合計÷人口 数値が高いほど、市民一人あたりが負担する金額が大きくなっている。</p>	647 (円/㎡)
V. 面積1㎡当たりのコスト	<p>延床面積1㎡当たりの施設維持管理にかかるコストを示す指標 支出合計÷延床面積 数値が高いほど、施設規模に比べて施設維持・運営にコストがかかっている。</p>	14,850 (円/㎡)
総合評価	<p>経過年数から老朽化していないと判断(I)。耐震性能を有している(II)。 利用者負担は評価できない(III)。市民一人当たりのコストが大きい(IV)。 市内全施設の相対的な比較では、㎡あたりの施設維持コストは高い(V)。</p>	

北広島市 公共施設カルテ

調査実施年度 平成30年度

施設名	広葉交流センター（旧校舎）			
-----	---------------	--	--	--

大分類	市民文化系施設	中分類	集会施設	施設番号	50
-----	---------	-----	------	------	----

所管部課	市民課
------	-----

1 土地データ

所在地 (地区)	広葉町3丁目1番地 (北広島団地)	敷地面積	26,240 m ²
		うち借地面積	- m ²

2 建物データ

複合・併設施設	広葉学童クラブ、北広島団地児童センター			建築年度	昭和49年度
建物構造	RC(一部S)	延床面積	4,633 m ²	経過年数	44年
階数(地上)	2階	階数(地下)	-階	避難所指定	指定避難所
概算更新コスト	1,853,200千円	法定耐用年数	47年	市民1人当たり更新コスト	31,550円/人

3 管理運営データ

利用状況	H28年度	H29年度	H30年度	平均利用者数	管理形態		
	17,662人	17,515人	人	17,589人	指定管理者		
ファシリティコスト 平成29年度分 施設コスト ①施設維持コスト 建物を良好に保つために要する経費 + ②施設運営コスト 公共サービスを提供するために要する経費	内 訳		金額(千円)	支 出	内 訳		金額(千円)
	収 入	利用料等	-		①施設維持コスト	修繕料	140
		国費	-			火災保険料	13
		道費	-			維持管理委託料	2,614
		その他	14,400			敷地借上料	-
		市費(一般財源)	24,310			工事請負費	19,332
	合 計		38,710		その他維持費	-	
					小 計	22,099	
			②施設運営コスト		人件費	-	
					光熱水費	8,580	
運営委託料				8,031			
その他運営費				-			
			小 計	16,611			
			合 計(①+②)	38,710			
コスト計算	平均利用者数1人当たり		市民1人当たり		延床面積1m ² 当たり		
単位コスト	2,201円/人		659円/人		8,355円/m ²		

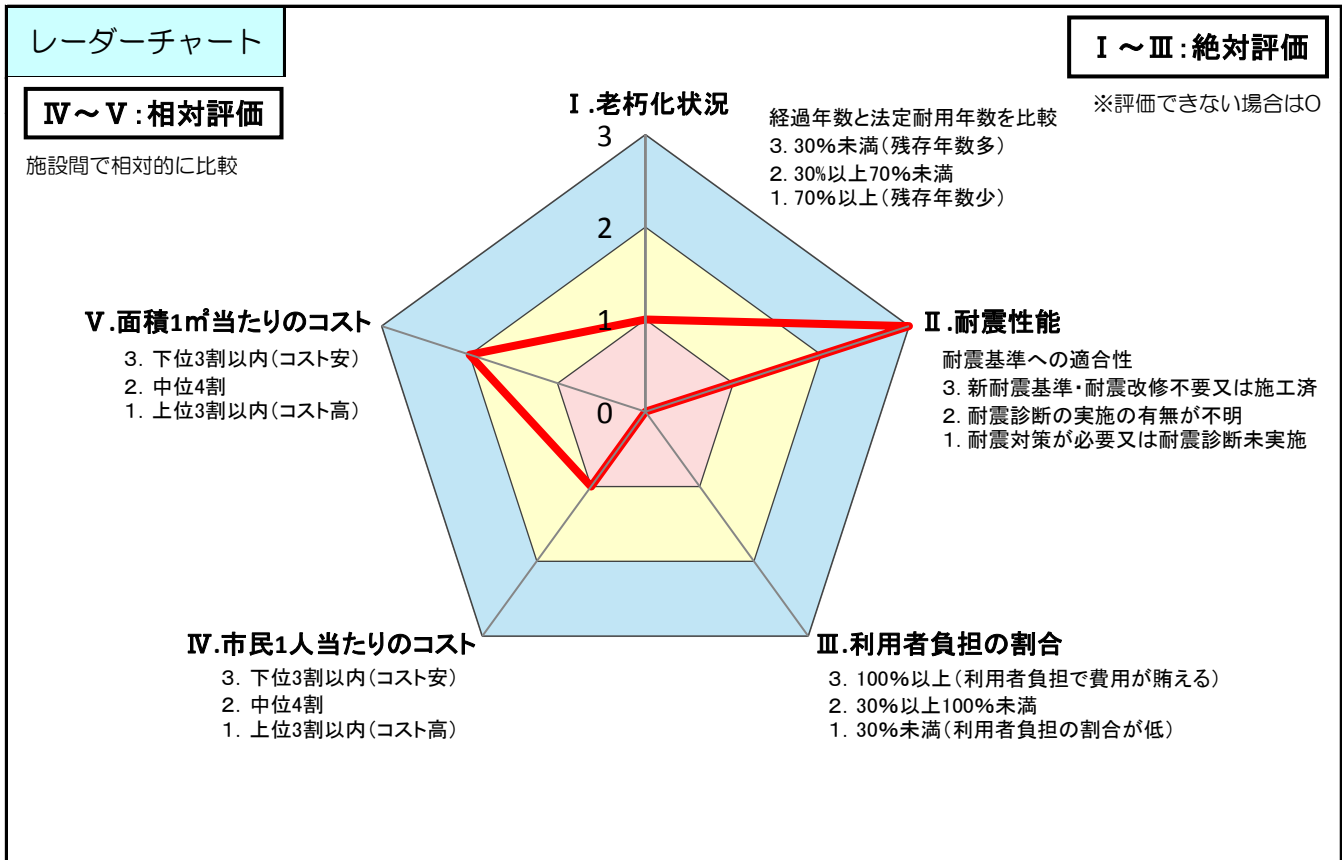
4 修繕履歴

実施年度	内容	工事費(千円)	実施年度	内容	工事費(千円)
H24	広葉小学校跡施設利活用改修基本設計	3,360			
H25	広葉小学校跡施設改修工事の内建築主体工事	195,300			
H25	広葉小学校跡施設改修工事の内機械設備工事	72,450			
H25	広葉小学校跡施設改修工事の内電気設備工事	78,750			
H25	広葉小学校跡施設改修工事の工事管理委託	6,510			
H29	学童クラブ棟改修工事	12,852			
H29	屋外排水管工事	6,480			

5 特記事項

H26.7.27に広葉交流センターがオープン
H24~25の修繕履歴は、屋体分を含む。

6 データ分析



レーダーチャートで示す5つの指標

<p>I. 老朽化状況</p>	<p>建物の老朽化を示す指標 (%) 建物の経過年数と法定耐用年数を比較して老朽化率を%表示 (経過年数÷法定耐用年数) 数値が高いほど老朽化が進んでいる。</p>	<p>94 (%)</p>
<p>II. 耐震性能</p>	<p>建物の耐震安全性を示す 耐震性能の有無と対策の必要性を表示 耐震性能あり：新耐震基準で建設されているか、診断結果で対策不要か 対策実施済。</p>	<p>耐震性能あり</p>
<p>III. 利用者負担の割合</p>	<p>ファシリティコストに対する利用料等(利用者負担の割合)を示す指標 利用料等÷ファシリティコスト(施設維持管理コスト) 数値が高いほど、利用者負担の割合が高く、収支のバランスが取れている。 利用料等が発生しない施設は1、ファシリティコストが発生しない施設は3。</p>	<p>- (%)</p>
<p>IV. 市民1人当たりのコスト</p>	<p>市民1人当たりの施設維持管理にかかるコストを示す指標 支出合計÷人口 数値が高いほど、市民一人あたりが負担する金額が大きくなっている。</p>	<p>659 (円/㎡)</p>
<p>V. 面積1㎡当たりのコスト</p>	<p>延床面積1㎡当たりの施設維持管理にかかるコストを示す指標 支出合計÷延床面積 数値が高いほど、施設規模に比べて施設維持・運営にコストがかかっている。</p>	<p>8,355 (円/㎡)</p>
<p>総合評価</p>	<p>経過年数から老朽化が進んでいると判断(I)。耐震性能を有している(II)。 利用者負担は評価できない(III)。市民一人当たりのコストが大きい(IV)。 市内全施設の相対的な比較では、㎡あたりの施設維持コストは標準的(V)。</p>	

北広島市 公共施設カルテ

調査実施年度 平成30年度

施設名	広葉交流センター（屋体）			
-----	--------------	--	--	--

大分類	市民文化系施設	中分類	集会施設	施設番号	51
-----	---------	-----	------	------	----

所管部課	市民課
------	-----

1 土地データ

所在地 (地区)	広葉町3丁目1番地 (北広島団地)	敷地面積	26,240 m ²
		うち借地面積	- m ²

2 建物データ

複合・併設施設	-			建築年度	昭和49年度
建物構造	SRC	延床面積	788 m ²	経過年数	44年
階数(地上)	1階	階数(地下)	-階	避難所指定	指定避難所
概算更新コスト	315,200千円	法定耐用年数	47年	市民1人当たり更新コスト	5,366円/人

3 管理運営データ

利用状況	H28年度	H29年度	H30年度	平均利用者数	管理形態			
	13,702人	12,903人	人	13,303人	指定管理者			
ファシリティコスト 平成29年度分 施設コスト ①施設維持コスト 建物を良好に保つために要する経費 + ②施設運営コスト 公共サービスを提供するために要する経費	内訳		金額(千円)	支	内訳		金額(千円)	
	収	利用料等	-		-	①施設維持コスト	修繕料	127
		国費	-		-		火災保険料	13
		道費	-		-		維持管理委託料	-
		その他	-		-		敷地借上料	-
		市費(一般財源)	140		-		工事請負費	-
	合計		140		-	その他維持費	-	
	小計		140		-	小計		140
	出	-			-	②施設運営コスト	人件費	-
		-			-		光熱水費	-
-		-	運営委託料	-				
-		-	-	その他運営費	-			
小計		-	-	小計		-		
合計(①+②)		140	-	合計(①+②)		140		
コスト計算	平均利用者数1人当たり		市民1人当たり		延床面積1m ² 当たり			
単位コスト	11円/人		2円/人		178円/m ²			



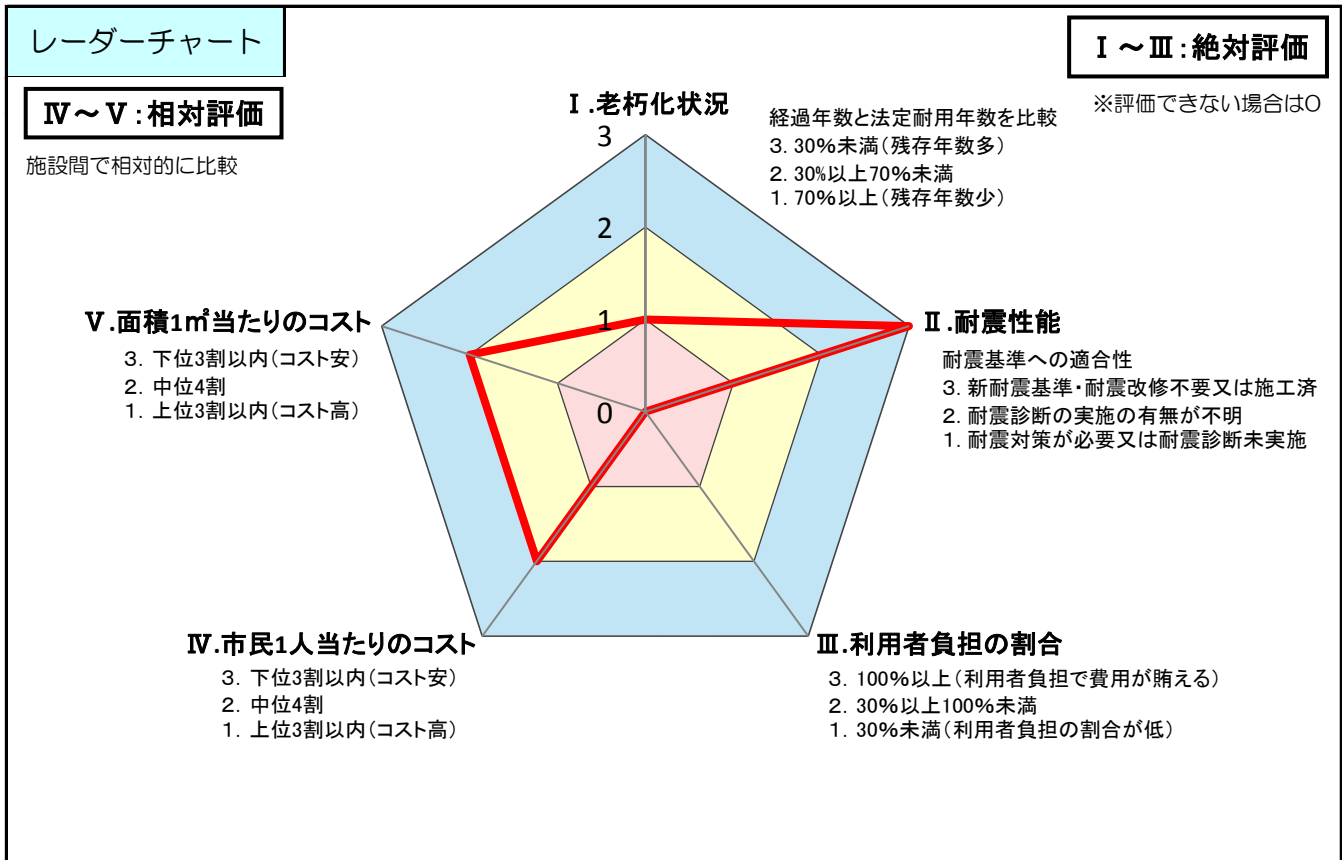
4 修繕履歴

実施年度	内容	工事費(千円)	実施年度	内容	工事費(千円)
H28	体育館屋根補修	972			

5 特記事項

H26.7.27に広葉交流センターがオープン

6 データ分析



レーダチャートで示す5つの指標

<p>I. 老朽化状況</p>	<p>建物の老朽化を示す指標(%) 建物の経過年数と法定耐用年数を比較して老朽化率を%表示 (経過年数÷法定耐用年数) 数値が高いほど老朽化が進んでいる。</p>	<p>94 (%)</p>
<p>II. 耐震性能</p>	<p>建物の耐震安全性を示す 耐震性能の有無と対策の必要性を表示 耐震性能あり：新耐震基準で建設されているか、診断結果で対策不要か 対策実施済。</p>	<p>耐震性能あり</p>
<p>III. 利用者負担の割合</p>	<p>ファシリティコストに対する利用料等(利用者負担の割合)を示す指標 利用料等÷ファシリティコスト(施設維持管理コスト) 数値が高いほど、利用者負担の割合が高く、収支のバランスが取れている。 利用料等が発生しない施設は1、ファシリティコストが発生しない施設は3。</p>	<p>- (%)</p>
<p>IV. 市民1人当たりのコスト</p>	<p>市民1人当たりの施設維持管理にかかるコストを示す指標 支出合計÷人口 数値が高いほど、市民一人あたりが負担する金額が大きくなっている。</p>	<p>2 (円/㎡)</p>
<p>V. 面積1㎡当たりのコスト</p>	<p>延床面積1㎡当たりの施設維持管理にかかるコストを示す指標 支出合計÷延床面積 数値が高いほど、施設規模に比べて施設維持・運営にコストがかかっている。</p>	<p>178 (円/㎡)</p>
<p>総合評価</p>	<p>経過年数から老朽化が進んでいると判断(I)。耐震性能を有している(II)。 利用者負担は評価できない(III)。市民一人当たりのコストは標準的(IV)。 市内全施設の相対的な比較では、㎡あたりの施設維持コストは標準的(V)。</p>	